

平成30年11月22日(木)

### いい夫婦の日

いい夫婦の日です。11・22の語呂合わせですが、いい夫婦といわれると気恥ずかしいし、いい夫婦でないこともあり心やましいし、そうかといってどうすることもならないだろうし、うまく言うことができないことばかりを抱えて、結論を先回しにするしかないというのが現状です。こればかりは、相手との関係性なので、自分ばかりが良いことばかりになるとは限りません。

ただ問題は、子供のこととなると、たとえ内心は穏やかならずとしても、いい夫婦であることは必要条件であるのは確かなことです。

毎週、木曜日には、学校カウンセラーが来校します。本人の申し出や担任・養護教諭の配慮で、カウンセリングが行われます。1日6人の枠がびっしりの時もあります。4月から様子をうかがいながら、それぞれの生徒の今を感じてきました。

結論から申しますと、家族の悩みこそが生徒の悩みです。丸ごと全身で家族を受け止めてしまっており、何とかしようともがいてもうまくいかず、負のスパイラルに落ち込んでいく様子を心配します。

仮に、目標を見つけさせ、当座、そのことを目途に進むとして悩みを消そうとしても、根源的な悩みをどうにかしない限り、解決には至りません。性急であり、潔癖であり、妥協しない若者特有の精神の在り方が影響します。

違うことに励んでも、ほっとしたときによみがえったり、今に集中しても、未来を垣間見てしまったり、過去にさよならしても、過去が追いかけてきたり、症状は様々ですが、状況はおおよそ似ているものです。

学びに集中するためには、数々の不安を取り除いておげることが第一のことです。自分という存在の不安や、自分と他人とのかかわりの不安や、他人とのコミュニケーションの方法や結果の不安や、アイデンティティの不安の中で、家族の不安を真正面にしなければならぬときに、子供たちはいっぱいいっぱいになってしまいます。

そのことを理解して待つことをしつつも、子供ではどうしようもないことがあるとき、親として子の身になることが大切です。自分も、子供の身に立って物事を考えているか不安です。が、子供がようやく25歳を超えていこうとしているとき、肩の荷が少し降りていくような気がします。

子供が自立していくとき、自分の親が自立できなくなる時期がやってきます。まさしく、自分はいつも困ったまままだなあという嘆きの中にもまあります。まあ、そんなときはコーヒーでも飲んで少しゆっくりしてから、次のことを考えていこうとしています。結論は、何とかなるさであります。

